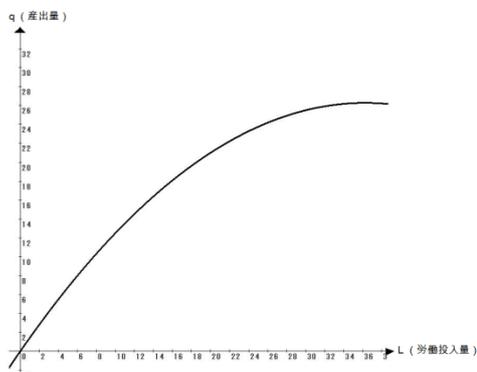


【平成 25 年度・後期学期・ミクロ経済学 II・課題 2】

☆ 平成 25 年 11 月 12 日（火）講義開始時提出

【問 1】 次の図のように 1 財のみに依存する生産関数が与えられている。この生産関数を使って利潤最大化を行う企業の経済行動を分析しようとした際に、後の設問に答えなさい。（次のページに提出用のグラフがあります。）



(1) この生産関数のグラフから、平均生産高、限界生産高を求める際に必要な補助線をどのように描けばよいか、言葉で説明しなさい。（グラフに描きこまないこと）

(2) 今、この企業が産出物の市場と、労働市場で直面する価格について、生産物価格が 5、労働賃金率が 1 と与えられている場合、この企業の費用関数を（数式で）示し、グラフにその関数を描きいれなさい。

(3) 労働力市場で企業が最適労働投入量（利潤際高化となる労働需要量）を選ぶ際の、企業の利潤最大化の一般的な 1 階の条件を（数式で示しなさい。）また、(2) の市場化価格である場合の利潤際高化となる労働投入量を図の上に示しなさい。

(4) この企業が市場で直面する労働賃金率が 4 に上がった場合について、(3) を繰り返しなさい。

(5) (3) と (4) の情報より、生産関数のグラフの真下に、労働需要関数を描きなさい。（軸も自分で定めてください。）

【問 2】 ある企業の生産関数が労働投入量（L）のみに依存しており、

$$q = -0.02L^2 + 1.4L$$

で表されている。

(1) この企業の一般的な利潤関数を示しなさい。

(2) この企業の一般的な利潤最大化の 1 階の条件を示しなさい。

(3) 今、この企業が労働市場で直面する賃金率が 2、産出物の価格が 5 である場合、この企業の利潤を最大化する、最適労働投入量（雇用量）を求めなさい。

(4) この企業が直面する労働賃金率が 4 に上がった時、また、1 に下がった時の最適労働投入量（雇用量）を求めなさい。

(5) この企業の労働需要関数を (3)、(4) の情報からグラフにしなさい。

(ミクロ II・課題 2・問 1 提出用)

☆印刷の上解答してください。提出の際は他の解答とともに添付して提出してください。

